

あなたの口腔内を 3D 画像で分析・診断

CT スキャナー



みやまつ歯科クリニック

ご質問は当院のスタッフまでお気軽におたずねください。

CT スキャナーなんでも Q&A

Q1

CT スキャナーって何ですか？

A1

CT スキャナーとは「コンピューター断層撮影装置」のこと。
通常のレントゲン写真が 2 次元のみの撮影なのに対し、
3 次元（水平・垂直・奥行）で撮影できるため
見たい断面を自在に表示でき、3D 画像での診断が可能です。

Q2

撮影時間ってどのくらいかかるの？

A2

撮影部位や撮影画像にもよりますが、
約 25 秒（X 線照射は 11 秒）で
撮影が終了します。

Q3

CT スキャナーも X 線を出しますよね？

A3

例えばパノラマ撮影と比較した場合、
通常のパノラマ X 線撮影の約 1/5 の放射線量で
撮影が終了します。

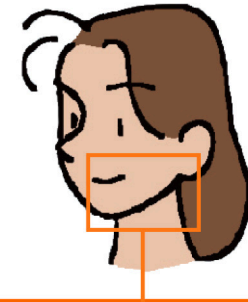
当医院では患者さんに安心して
治療を受けていただきたいと思っています。
治療の疑問点など、私どもへご相談ください。

見えないところが一目瞭然。

3D 画像やスライス画像が
正確な治療のガイドラインになります。

あなたのお口の中を 3D 画像やスライス画像で正確に診断。

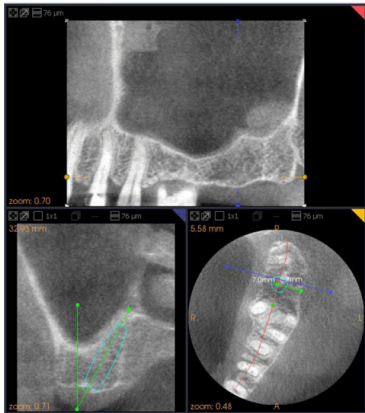
歯の神経の深さや方向、骨の状態など
普段のレントゲン写真ではわかりにくい部分を
正確に映し出します。



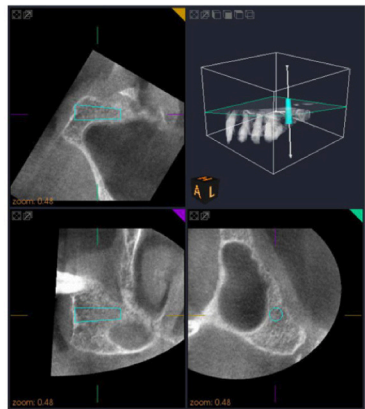
こんなに見える。患部をより詳しく知ることによって正しい治療が行えるのです。

インプラント治療

インプラント（人工歯根）治療を行う時には、事前にインプラント埋め込み部位の骨の構造を把握する必要があります。CT スキャンを行うことで、骨の状態や隣接歯の状況が確認できます。



上顎インプラント事前診査をトロフィンプラスで行います。パノラマ画像の診断で非常に骨吸収が進んでいることが分かります。



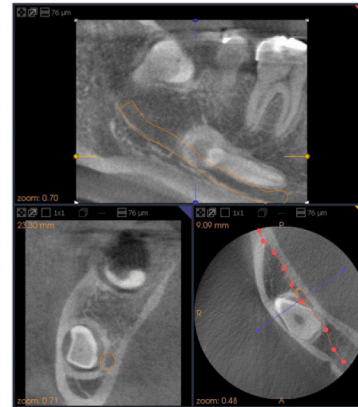
独自の機能を用いて360度あらゆる角度でインプラントを埋め込む位置が正しいかどうかシュミレーションできます。



術後のパノラマ画像を確認します。事前のシュミレーションどおりにインプラントが埋入されていることが分かります。

口腔外科・根管治療

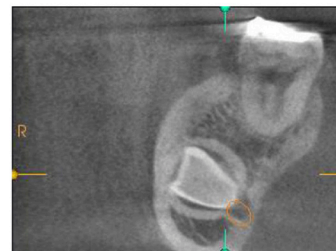
親知らずなど埋伏歯（顎に埋もれた歯）を抜歯する場合、歯根（歯の根っこ）の位置や神経の位置を確認しておく必要があります。CTによる断層撮影はその位置関係を明確にできます。



CT撮影した後、画像ツールを使用して、ソフト上で下顎管に色を付け走行状態を鮮明にします。



パノラマ画像では埋伏歯が下顎管と重なって写っており、このまま抜歯をすると下顎管を傷つける恐れがあります。

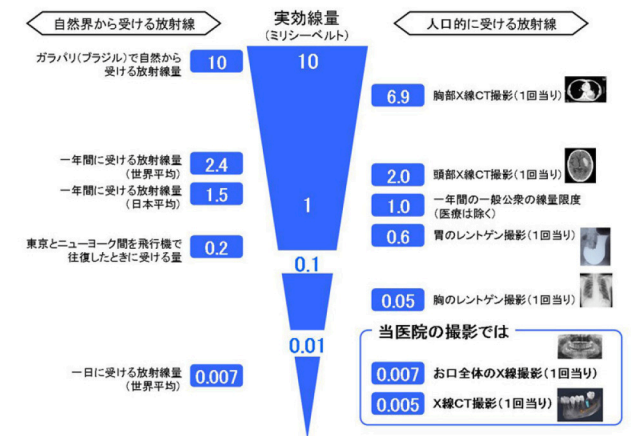


CTの断層画像を確認すると埋伏歯と下顎管の位置関係をはっきりと分かります。

少ないX線照射線量！

当院のレントゲン装置は従来の方式と比べて、少ないX線量で診断することが可能です。

撮影方法	照射線量 (μSv)	自然放射線換算 (6.58μSv/日)
パノラマ撮影 (標準)	7.0	0.7
3D撮影 (下顎前歯部)	4.7	1.1
3D撮影 (上顎臼歯部)	13.3	2.0



わかりやすいコンサルテーション

どこに治療必要なかなど、実際に撮影された3D画像等を見ながら説明を受けることができます。

